

施策評価調書

施策名	5-2-5	計画的な社会教育施設の維持		施策を取り巻く環境変化	社会教育施設は、安全性の確保が重要でありますから、耐久性に支障をきたした施設・設備に対し、延命のための改修を施工して、住民が安心して使える施設の整備をする必要があります。その効果は住民の生涯学習拠点である施設の教育環境の質的整備(ルール改正による競技場ラインの改訂・ニュースポーツ用ラインの新設・水銀灯の点灯時間を解消する新型器具への更新・音楽部門の使用に伴う会議室内壁の遮音構造化・ナイター設備の照度低下の改良等)を図れ、町生涯学習の推進及び町スポーツ計画の目標達成に寄与しなければならない。また、町民が自発的な意思により、自己の充実、啓蒙や生活の向上のため、適切かつ豊かな学習の機会を利用し、自分に適した手段、方法を選択し、一生涯の学習を行うため、その実現に向けた町の支援策として、利活用できるインターネット等を媒介とした情報の検索、施設の予約等の環境を整備することにより、「いつでも」「どこでも」「だれでも」学習に取り組める施策を展開しなければならない。
		地域経営計画(後期計画) 該当ページ	P. 71		
担当部課	教育部 生涯学習課	担当 リーダー	施設管理担当		
			横塚恵子		

1. 住民意識調査結果

	21年度(10月実施)	25年度(※実施予定)	26年度(※実施予定)
満足度	3.7% 第17位/全36項目(社会教育・生涯学習環境の充実)	満足度 第 位/全 施策	満足度 第 位/全 施策
優先度	53.3% 第18位/全36項目(社会教育・生涯学習環境の充実)	優先度 第 位/全 施策	優先度 第 位/全 施策

満足度:「満足である」、「どちらかと言えば満足である」を合計した割合から、「どちらかと言えば不満である」、「不満である」を合計した割合を差し引いたもの

優先度:「優先すべき」、「やや優先すべき」を合計した割合から、「あまり優先しなくてよい」、「優先しなくてよい」を合計した割合を差し引いたもの

2. 施策の目標

指標	基準値	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
(施設予約システムの利用促進、施設整備)							
指標1:施設予約システムの年間アクセス件数:(件)	22年度実績 25,000件	計画	26,000件	27,000件	28,000件	29,000件	30,000件
		実績	↑ 27,274件				
指標2:社会教育施設の維持改修箇所数:(箇所)	9箇所	計画	1箇所(トレセン)	1箇所(町民ホール)	2箇所(改善センター・弓道場)	4箇所(トレセン・仁井田体育館・タウンセンター・石末運動場)	1箇所(図書館中央館)
		実績	→ 1箇所				
指標3:		計画					
		実績					
指標4:		計画					
		実績					
指標5:		計画					
		実績					
指標に関する特記事項	○施設予約システムのアクセス件数は、利用件数が近年増加傾向にあります。平成23年度から旧ギンビル体育館の住民開放が定着しますので、体育施設に関する施設予約システムの年間アクセス件数は、確実に増加することになります。さらに、トレーニングセンター、町民ホール及び農村環境改善センターの大規模改修工事を進めることによって、住民の施設使用意欲を向上させ、これらの施設の予約システムのアクセス件数は、増加することが十分期待できます。						

進捗状況の区分 ↑:目標以上の成果があった →:目標どおりの成果があった ↓:目標に至らなかった △:遅延・未着手等 ×:見直し・廃止等

3. 施策に係る経費

事業費(傘下事務事業費計)の推移【単位:千円】 (※総事業費)	年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
	当初	37,420		105,271		
	決算	40,347				

4. 施策傘下事務事業 ※別紙のとおり

5. 施策評価

	後期計画における施策展開のビジョン	H25年度の狙い
自己評価(部)	<p>H23事後評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 東日本大震災により大きな打撃を受け、その復旧事業費にあてなければならぬことから、財源確保も難しくなり、施設整備計画にそった改修補修も先送りとなったことはやむを得ないものと考えます。 しかし、町民が利用する施設を安全にかつ提供することも町の責務と考えますので安全確保が得られない施設については、最小経費で最優先に計画していかなければならないと考えます。 施設予約システムの利用は、増加傾向にありますが、講座申し込みシステムは利用者が少ないことから費用対効果から、システム廃止も視野にいれ検討する必要があると考えます。 <p>H25事前評価</p> <p>施設改修計画により、計画的な施設の維持保全や施設整備を行ってまいります。光熱水費や施設管理委託については、維持管理コストの削減に努めるとともに、日ごろから施設の日常点検を実施してまいります。点検の結果は改修工事や中長期的な保全計画又は次年度予算編成に反映させるなど、施設をいつまでも安全で快適に利用できるよう計画していきます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 24年度に整備計画した「町民ホール改修事業」については、財源確保のため先送りとなりましたが、施設の老朽化や空調設備に支障をきたしていることから、25年度は空調設備を更新します。 町民広場陸上競技場の防球ネット(2箇所)は劣化がひどく、基礎部分は腐食している状態にあります。大変危険性があることから、撤去及び新設整備を進めます。 町民広場は各種スポーツの競技場として多くの方々にご利用されていますが、環境整備のひとつとなるトイレは、洋式トイレ設置の要望が多いため、広場内の3箇所に1つずつ洋式トイレを整備してまいります。 また洋式トイレの設置については、順次整備する方向で計画してまいります。(社会教育施設、社会体育施設等) 施設予約システムは、パソコンや携帯電話から予約ができることから、利用件数も増加してきましたが、まだ電話による予約や問い合わせが多数あることから、予約システムの利用促進に努めてまいります。
総合評価(町長)	<p>総合評価</p> <p>計画に沿って施策展開されていると評価するが、財源確保(事業費・人件費ともに)のため、今後においては、所管部署としても、計画執行と財源確保のバランスを十分に検討されたい。</p> <p>また、将来的な需要に対する今後の施設の利活用方法についても、所管部署としての考え方を、中長期的な課題として議論されたい。</p>	<p>施策傘下事務事業に係る個別指摘事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 「社会教育施設修繕・改修事業費」の予算枠については「条件付継続事業」とし、予算査定において、歳入との見合いにより額を決定する。 「町民ホール外壁改修事業費」については、「条件付継続事業」とし、改修の是非を議論する前に、「今後の町民ホールの利活用のあり方」の議論を優先する。 「陸上競技場・野球場施設整備事業費」及び「町民広場外便所改修事業費」については危険性・緊急性が高いものとして「継続事業」とするが、予算査定にあっては、事前に改修方法を何パターンか示した上で、費用対効果のシミュレーションを実施されたい。